

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	①土砂災害・地震等の防災各種マニュアルは、適宜、更新(見直し)を行っている。 スタッフの防災への意識が十分とは言えず、今後高めていく必要がある。災害は減る事はなく、今後も増えていく事が予想される。(大雨による土砂災害や台風・大雪・地震など) ②地域の避難場所にベッド等の設備が整っていない。	実体に合った防災訓練の実施	①マニュアルは、今後も適宜更新を行う。訓練は年2回以上実施し、可能であれば地域の方への呼びかけも行っていく。防災委員を中止とし、防災マニュアルを把握し、新人職員に伝えていく。 ②地域避難場所の整備について、運営推進会議等を通し、お願いしていく。	6ヶ月
2	7	スピーチロックに気をつけている。今行っているケアが正しいのかどうか、意見を言い合える職員の関係が必要。認知症ケアについての知識不足が不適切ケアとなり、身体拘束や虐待につながるリスクとなってしまう。認知症ケアや介護技術など、常に学んでいく必要がある。また、利用者様が気持ちよく過ごしていただく場所であり、清潔な環境で過ごしていただくよう、環境整備・整理整頓を行っていく必要がある。	スピーチロック 身体拘束(行動抑制)虐待の防止	職員がお互いに注意し合う。利用者様に挨拶や声かけを行い、気持ちよく過ごしていただく。認知症ケアや介護技術などの研修の参加や、職員同士で正しいケアが出来ているか、確認を行っていく。職員側から見た「利用者様の困った行動」は不安のサインであり、どのように支えていくのが良いのか話し合っていく。整理整頓・環境整備を行い、清潔に気持ちよく過ごしていただく。	6ヶ月
3	23	新型コロナウイルス感染防止のため、外出は控えている。感染防止しながらの施設内での活動を開催し、楽しんでいただくように関わりを行っているが、実際の本人の思いが何であるか、会話や表情からの気づきが少ない。認知症で自身の思いを伝えられない方に対してもっと理解していく必要がある。	一人ひとりの思いや夢への実現に取り組む	気づきの情報の共有。申し送りをし、スタッフ間で情報を共有する。利用者様との会話の時間を増やしていく。言葉の中や表情から思いを理解し、実現に近づけるように取り組んでいく。もし、いつもと違った様子(異変)があれば、早期対応を行っていく。	12ヶ月
4	2	地域の方からどんな施設なのか、年数を重ねるごとに理解して頂けている。近隣の利用者様も増えてきている。引き続き、気軽に相談してもらえるような窓口となっていく必要がある。	地域の方の相談窓口としての役割をはたす 地域の方に気軽によってもらえる施設となる	近所の方への挨拶を行い、職員は住民の一員であることを自覚していく。近所の方が困ったことあれば気軽に相談を行っていく。イベントの開催は新型コロナウイルス感染防止のため難しいが、感染対策可能な地域貢献の実施を行っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。